第１３　神の言葉によって生きる

【暗唱聖句】

「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません」ヤコブ1：22

【日曜日・神の生ける言葉と聖霊】

聖書を読むと、私たちの生き方が変わってくるものです。ガイドの著者は聖書研究の目的はまさにここにあると言います。御言葉がなぜ私たちの生き方を変えるのか、それは「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです」（フィリピ2：13）とあるように、聖霊なる神様が内側に働き始めるからです。聖霊は御言葉に真理に目を開かせてくださると共に、自然に御言葉を生きる者へと変えてもくださるのです。聖霊の力なしに、聖書を正しく理解することも、それを生きることもできないのです。ここが単なる書物とは明らかに異なる点です。

「聖霊の助けなしに聖書を説明することは誰にもできない。しかし、謙遜かつ素直な心で神の言葉を手にするとき、神の御使いたちがあなたのそばにいて、真理の証拠であなたに感銘を与える」（セレクテッド・メッセージ）

【月曜日・イエスから学ぶ】

イエス様はサタンから3つの誘惑を受けられたとき、「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」と御言葉を通してサタンの誘惑に勝利しました。この言葉は実際に申命記8章3節の言葉の引用です。

「主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることをあなたに知らせるためであった」

イエス様が旧約聖書を簡単に引用することができたのは、イエス様は神様だからと単純に思いたいところですが、イエス様は人間の肉体をもってお生まれになったわけですから、条件は基本的に私たちと変わりません。イエス様は小さなころから聖書を学んでいたのです。わたしたちも日々御言葉を学び、御言葉を生きる指針としていくことが求められています。

また興味深いのは、サタンもイエス様に対して、「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ。というのは、こう書いてあるからだ。『神はあなたのために天使たちに命じて、あなたをしっかり守らせる。』また、『あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える。』」と、聖書の言葉を引用して誘惑していることです。この言葉は、詩篇91：11，12からの引用です。

「主はあなたのために、御使いに命じてあなたの道のどこにおいても守らせてくださる。彼らはあなたをその手にのせて運び、足が石に当たらないように守る」

これに対してイエス様は、申命記6:16を引用して、「あなたたちの神、主を試してはならない」とお答えになります。サタンは御言葉を悪用したわけですが、同じ過ちを犯してしまう可能性があるので注意しなければならないことを教えています。

【火曜日・イエス対聖書なのか】

イエス様はしばしば、「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」（マタイ5:43，45）というように、従来の教えを否定している言葉を述べています。このことからイエス様は旧約聖書を否定していると出張する人たちがいるようです。しかし、旧約聖書も新約聖書も同じ神様の霊感によって導かれた神様の言葉です。そこには一切矛盾はなく、神様がご自分で一度発せられた言葉を否定することはありえません。イエス様が従来の教えを否定されたとするなら、それは言い伝えや伝統の類であり、旧約聖書の神様の教えではありません。また、多くの人が誤解し間違った解釈をしている旧約聖書の教えを正すために、このように言われることもありました。

【水曜日・神の言葉と過ごす静かな時間】

新型コロナウイルスにより自粛を余儀なくされた時、あるアメリカの信徒が祈りの中で神様から次のように語りかけられたと言います。「終わりの時に備えるために、あなたに時間を与えたのだ」と。それまでゆっくり聖書を読んだり、祈ったりする時間がないほど忙しくしていた人たちも、コロナのために仕事が減り、お店も閉まり、家にいる時間が長くなったわけです。たっぷりと神様と過ごす時間ができたのです。それは神様ご自身が世の終わりに備えるために下さったというのなら、そうなのかもしれません。「沈黙して主に向かい、主を待ち焦がれよ」（詩編37：7）とあるように、静かに神様と過ごす時間を意識的に持つことが大切なのです。神様との静かな時を持たなければ、神様はわたしたちに語りかけることができません。神様との特別な時間は、私たちの霊的生活の源です。

【木曜日・聖句と歌】

聖句を暗証すると、たくさんの祝福があります。暗記した聖句は、日々の生活の中で思い出され、正しい判断や考えへと導いでくれます。手元に聖書がないような状況にあっても、心の中に蓄えられた御言葉が、助けてくれることでしょう。聖句を暗記する方法として効果的なのは、「詩編と賛歌と霊的な歌によって語り合い、主に向かって心からほめ歌いなさい」（エフェソ5：19）とあるように歌にすることです。聖句にメロディをつけて覚えてみてはいかがでしょうか。もちろん、暗記していなくても、聖霊が思い出させてくださるのも事実です。いずれにしても、日頃から御言葉に親しんでいく生活が大切ということです。